

『遊び 学び 育つひろしまっ子!』推進プラン ～広島県の全ての乳幼児の健やかな成長のために～（素案）」に関する意見募集の結果について

県教育委員会ホームページ等を通じて御意見を募集したところ、31件の御意見をお寄せいただきました。

御協力に厚くお礼申し上げます。

1 募集期間

平成 28 年 12 月 2 日（金）～平成 29 年 1 月 4 日（水）

2 意見の件数

31 件（9 人・団体）

3 御意見と県の考え方

No.	御意見（概要）	県としての考え	ページ
1	（「それぞれの園・所ごとに幼児の育ちに関きが見られる」とあるが、）それぞれの園・所にはそれぞれの保育方針もあり、「違い」があって当然である。「開き」という言葉も非常にあいまいである。	「それぞれの園・所ごとの幼児の育ちに対する回答結果に差が見られること」と修正します。	1 ・ 3 ・ 43
	開きがあったのは「回答結果」であって、回答結果＝幼児の育ちと短絡するのは、結論ありきの論理飛躍である。		
2	（「幼児の育ち」の状況に関するアンケート調査の結果から「当てはまる」と回答した割合が高かった項目、低かった項目を挙げられているが、）「高い・低い」を断じるには、過去との比較や、他地域との比較などが不可欠である。そうした客観的な比較や対照標本がないデータでは、「高い・低い」を論じることはできない。	同一調査内で比較している旨、分かりやすい表現に修正します。	3
3	（「人間関係」、「言葉」の領域について解題があることについて、）保護者だけが問題のような誤解を	「保護者自身が地域等の人間関係の希薄さから」といった文言など、保護者だけが問題のような誤	3 ・ 4

No.	御意見（概要）	県としての考え	ページ
	与える。家庭と保育，学校現場での事例や地域社会環境などの背景もバランスよく示していただきたい。	解を与える部分は削除し，家庭でも園・所等でも見られる書き方に修正します。	
4	「特別な配慮を要する園児がいる」と述べているが対応策が示されていない。	第2章「具体的な施策展開」の中で，該当の保護者への支援の在り方や，関係機関の連携について追記します。その他の施策についても，具体的に事業化する段階で配慮していきます。	45
5	(92.8%の園・所が，「地域の専門機関とつながるための支援」を充実させていく必要があると感じているとされているが，)「専門機関」について，何の専門機関かわからない。	平成27年度「幼児期の教育の充実に関する調査」項目の文言からの引用のため，原文のまま記載しています。なお，前記調査の実施当時は，市町の福祉事務所，こども家庭センター（児童相談所）のような各種相談窓口を想定していました。	—
6	「外遊び」，「自然体験」のあるなしだけで親子の関わりの状況を判断するのは無理ではないか。	前記調査においては，約2割の保護者が自分の子供と外遊びや自然体験を「あまりしていない」，「ほとんどしていない」と回答されていますので，現状の一部として原文のまま記載しています。	—
7	(保護者が)「日々の家庭と仕事の両立に追われ」とあるが，一概に，そのために時間的余裕がないとは言えない。また，「身近な体験活動の場所に関する情報が不足」しているのか，「本当に場所がない」可能性もある。	「手軽にできる体験活動の方法や身近な場所についての情報が不足していること」と修正します。	8
8	遊びにはいろいろな種類がある。一人遊びで想像力を発揮するものもある。集団遊びや外遊びでないとだめなのかと捉えられる。これが，苦手な子もいる。	子供の遊びには色々な遊びがありますが，その中でもごっこ遊びは，子供の想像力，社会性，言語能力の発達などに重要な役割を持っています。 自らごっこ遊びをすることが難	11

No.	御意見（概要）	県としての考え	ページ
	<p>様々な要因（環境，機会提供，経済的課題，個人の特性，あるいは障害等も含む）により，うまく遊びを構築できない子もいる。マジョリティは子供自身だけでも，自分が望む遊びを構築可能だが，そうでない子には何らかの支援が必要となる。</p>	<p>しければ，周りの大人が遊びを促す工夫をしたり，子供同士の相互作用のきっかけとなる声掛けを行ったりすることで，ごっこ遊びを楽しむことができるようになってくることも様々な研究から分かってきています。</p> <p>このことから，「基本としては，子供の主体性に任せていくのが望ましいことは言うまでもありませんが，様々な要因により，うまく遊びを構築できない子供もいます。」を追記します。</p>	
9	<p>5つの力のうちの「感じる・気付く力」について，子供の周りの環境や人から「感じる・気付く」となっているが，音や音楽に反応し，身体表現したり，音楽表現をしたりする，それを友達と一緒に体験することで，人ともつながり，他者の表現に気付き，自分の表現を変えていく（価値観の変容）ことも，自己表現，自己主張として大事なのではないかと思う。</p>	<p>経験内容の一つとして，「生活の中にある様々な音や音楽が持つ不思議さや面白さ」を追記します。</p>	13
10	<p>育みたい5つの力「感じる・気付く力」，「うごく力」，「考える力」，「やりぬく力」，「人とかかわる力」を全ての子供を対象にまた，個々の特性に応じて取り組みを進めていくことは，今後ますます重要なことだと思う。配慮を必要とする子供を持つ親にとっても温かみのある施策になると思う。</p>	<p>プランに基づく施策の実施において，頂いた御意見を踏まえ取組を進めていきます。</p>	—
11	<p>書いてある内容はよいのだが，何々することが大切です等あるが，出来ない人はどうすればいいのかと思う。保護者が子育てに自</p>	<p>「～が大切です」，「～が重要です」といった箇所については，「～に繋がっていきます」という書き方に修正します。</p>	15

No.	御意見（概要）	県としての考え	ページ
	<p>信を持てるような表現にされるとよいのではないか。</p>		
12	<p>乳幼児の生活に重要な「食事，排せつ，睡眠」の改善に対する対応についてしっかりと明記し，乳幼児期から積極的に保護者に働きかけて意識の改革を図って改善していくことが，広島県全体の子ども達が健やかな心と体を育み，学ぶ力を身につけるために大きく効を奏するものと考えます。</p> <p>推進プランには，子供の育ちと学びの連続だけでなく，保護者への学びもぜひ加えて欲しい。「親プロ」講座を実施する際に，保育士から「朝ご飯を食べていない子供が，午前中の授業に集中できていないことがある。」という小学校での様子を保護者に話して欲しいとよく言われる。小学校では，生活面や躰などが親の役目になることを早いうちから自覚し，入学前から徐々に備えて欲しいという思いが保育士にあるように感じる。</p>	<p>乳幼児期における基本的な生活習慣の定着は重要であると考えています。</p> <p>保護者へは，施策3において情報提供を行い，家庭での取組の理解と行動化に繋げていきたいと考えています。</p>	—
13	<p>モデルカリキュラムの開発と実践，検証，成果の普及を早期にできるよう望む。</p>	<p>プランに基づく施策の実施において，頂いた御意見を踏まえ取組を進めていきます。</p>	—
14	<p>接続コーディネーターの役割に期待したい。活用がスムーズにいくと環境も整いやすく，情報を誰もが納得できるように共有することができると思う。</p>	<p>プランに基づく施策の実施において，頂いた御意見を踏まえ取組を進めていきます。</p>	—
15	<p>幼児教育アドバイザーの訪問指導や国立・公立・私立，園・所等の枠組みを超え，保育士も研修に参加できるよう検討することで，通う園・所での差がなくなり，入</p>	<p>教員・保育士等がより参加しやすい研修時期・実施方法について，園・所等関係団体及び市町担当課等と連携して，検討していきます。</p>	—

No.	御意見（概要）	県としての考え	ページ
	<p>学時に子どもたちも戸惑うことが少なくなると思う。現場の保育士不足を考えると、県には管理職への働きかけをしっかりといただき、希望する職員が研修に参加することができる環境づくりをしていただきたい。</p> <p>教育・保育内容普及のための研修の充実なども大切である。色々な機関や団体（民間）の力を活用するとよい。</p>		
16	<p>今後の広島県、日本に必要な人材を育てていかなければと思っている。「オール広島で子供を育てる」ことに微力ながら、お手伝いさせて頂きたいと思う。要望とすれば、県として、国としてどのような人材を育てていきたいか、そのためには何をすべきかなどを、研修または討論する場を設けていただきたい。</p>	<p>本県の育成すべき人材に向け、研修において、何をすべきかなどについて協議する場を設けるよう検討していきます。</p>	—
17	<p>「絵本の読み聞かせの重要性」については賛成である。さらに、個人的な意見としては、紙の絵本の読み聞かせは重要だが、一部の若い親御さんが使用されるスマートフォン用の絵本アプリには違和感がある。プランに直接書き込むかは別として、絵本アプリに対する県教委としての姿勢を検討していただきたい。</p> <p>「生きる力」を身に付けるために、外遊びと絵本の読み語りは必要であるが、最近気になっていることは「絵本アプリ」の存在である。電子図書館も普及する中、紙媒体を知らずに「絵本アプリ」が</p>	<p>電子メディアの活用に関わっては、心身の発達過程にある子供への影響が懸念されていることを踏まえ、乳幼児期における電子メディアの活用について、検討を進めていきます。</p>	—

No.	御意見（概要）	県としての考え	ページ
	<p>初めて出会う絵本になる傾向が進んでいる。絵本の表紙をスライドさせて「動かない・めくれない」と言った子供がいると聞く。この世の中から無くすことはできないので、「上手く共存」することを丁寧に伝えていかないとと思っている。そのために、保護者・保育士・地域支援者・読み語りボランティアなどへの提案を早急に望む。</p>		
18	<p>「親プロ」講座体験後の状況の変化が数値として見える化できるようになると事業実態に説得力が生まれると思われる。</p>	<p>平成29年度から、家庭での取組への効果を検証するため、「親プロ」講座を実施する際、「講座に参加して実践への意欲につながった」等についてのアンケート調査を実施する予定です。</p>	—
19	<p>体験活動や外遊びについて、保護者には、子供をレジャーに連れていくだけでなく、近くの自然で遊べることに気付いて欲しい。</p>	<p>体験活動を身近に感じ、手軽に行える「親子の体験活動プログラム」の普及について施策4-取組②に盛り込んでおり、今後普及を図っていきます。</p>	—
20	<p>地域による親子支援について、子供と地域住民の双方にとって無理なくできる体制づくりが必要である。</p> <p>親子家族だけの子育てではなく、地域社会全体での子育て支援が必要である。地域の人に理解と関心を持ってもらい、上手くつながっていく必要がある。</p>	<p>地域からの支援については、施策5において各市町におけるチーム型の支援体制の充実を図るとともに、施策6-取組①において子育て家庭を支えることについて社会の理解を深めるための啓発活動等に努めていきます。</p>	—
21	<p>様々な理由で十分な家庭教育が困難な家庭への支援について、子育てを社会全体で行うことの地域住民の関心と理解が必要である。</p>	<p>施策6-取組③において配慮を必要とする親子への支援に取り組むとともに、施策6-取組①において子育て家庭を支えることについて社会の理解を深めるための啓発活動等に努めていきます。</p>	—

No.	御意見（概要）	県としての考え	ページ
22	<p>全ての保護者に届く施策となるために、産婦人科など病院におけるプランの周知や、産後ケアの立場からの支援が必要である。</p>	<p>プランの周知に関する御意見につきましては、今後、プランの普及、啓発を図っていく際に参考にさせていただきます。また、産後ケアの立場からの支援が必要との御意見につきましては、施策6-取組④において母子保健や子育て支援等を切れ目なく支える体制づくりの推進に努めていきます。</p>	—
23	<p>子どもたちの健やかな出生、またその成長、及びその親、妊産婦等の健康と病気予防のために、受動喫煙の危害防止対策、及び親や妊産婦・家族が喫煙している場合は禁煙を促す抜本的施策をよりいっそうよろしく願いたい。</p> <p>乳幼児・保育園・幼稚園の園児の父・母・同居家族に喫煙者が多いと報告されている。保育園の前などで喫煙をしている母親などの姿は珍しくない。家庭での対策や啓発はもちろん重要であるが、その知識普及・周知のためにも、幼稚園や小中学校を含め、これら保護者への禁煙促進の働きかけや啓発・講習等に焦点を絞ったプログラムが望まれる。</p> <p>子どもだけでなく、保護者、職員、子ども施設の外来者の健康を受動喫煙の危害から守るために、また子どもたちに禁煙の模範を幼年期より示すためにも、施設敷地内の全面禁煙の徹底・遵守、また施設（園、学校、子ども関連施設等）外における催し等でも、その遵守・徹底をお願いしたい。</p>	<p>関係課、関係機関に伝えるところにも、今後の施策の参考にさせていただきます。</p>	—